



# 営農サポート通信 第58号

平成28年12月 JA都城：営農サポーター（TAC）



Tとことん、A会って、Cコミュニケーション!!

## 焼酎用原料甘藷実績

《平成28年度コガネセンガン実績》 (単位：トン)

支所	総収量	平均反収(10a)	支所	総収量	平均反収(10a)	支所	総収量	平均反収(10a)
姫城	559	3.11	梅北	409	3.19	山之口	184	2.35
五十市	1,195	3.03	安久	516	2.60	高城	762	2.98
祝吉	216	2.25	庄内	2,278	3.19	山田	3,428	3.08
沖水	289	3.54	西岳	11	2.10	高崎	1,608	3.18
志和池	392	2.27	三股	491	2.66	合計	12,338	2.82

《平成28年度ムラサキマサリ実績》 (単位：トン)

支所	総収量	平均反収(10a)	支所	総収量	平均反収(10a)	支所	総収量	平均反収(10a)
姫城	226	2.40	梅北	417	2.89	山之口	117	3.06
五十市	393	2.50	安久	491	2.42	高城	18	3.52
祝吉	87	1.94	庄内	1,239	3.04	山田	1,439	3.12
沖水	346	2.84	西岳	3	0.46	高崎	242	2.32
志和池	614	2.47	三股	267	2.67	合計	5,899	2.55

《平成28タマアカネ実績》 (単位：トン)

支所	総収量	平均反収(10a)	支所	総収量	平均反収(10a)	支所	総収量	平均反収(10a)
姫城	97	4.87	庄内	105	5.83	高城	21	8.26
五十市	24	4.93	三股	240	4.30	合計	620	4.98
志和池	26	3.10	山之口	107	3.55			

※平均反収は、JA契約数量に対して計算しています。

## 甘藷用肥料が値下げとなりました

- ・甘藷専用有機化成(4.5-14-22) 前年比-227円
- ・FTE入り甘しょBB40号(4.5-14-22) 前年比-194円



※12月1日に肥料の価格改定がありました。甘藷用肥料以外でも値下げとなっている肥料がありますので、購買窓口お気軽にお尋ねください。

## ゴボウ情勢

今シーズンの青森県産ごぼうについては、生育が順調であると思われていたが、台風、天候不良(長雨)によるごぼうの腐敗等の問題が発生し貯蔵が困難な状況であり、また太物(3L・2L)が不足しています。青森県産ごぼうは、昨年度が前年比80%程度の収量となっていたが、本年度は例年の70%を下回る可能性があるということです。

現在の販売価格は例年の倍近くの単価で推移しており、加工業者も数量確保が困難な状況となっています。今後しばらくは現在の相場を維持し、販売が行われるとの見込みです。

## JAバンク利子補給

JAバンクでは生産者の皆さまの農業経営がより成長していくための支援として、利子助成(最大1.0%)を行っております。JAの農業運転資金のうち、JAバンクアグリ・エコサポート基金が承認した資金が対象となります。

助成率(最大): 1.0% 助成期間: 借入残高のある期間

- 担い手応援ローン 農業経営に必要な運転資金。極度額・限度額1,000万円が限度になります。借入額100万円以上が利子補給の対象となります。
- アグリローンS 農業経営に必要な運転資金。極度額・限度額3,000万円が限度になります。借入額100万円以上が利子補給の対象となります。

※詳しくは各支所、支店の融資窓口お気軽にお尋ねください。なお、条件によっては、ご要望にお応えできない場合がございます。

## 製造中止になった農薬

ラービフロアブルが製造中止となり、在庫限りの販売となりました。甘藷、里芋などのヨトウムシ防除で使用していた方もいらっしゃるのではないかと思います。代替農薬につきましては、気軽にご相談ください。



## 年末年始の野菜受入れについて

作物	年内最終受入れ日	年始受入れ開始日
里芋：荒	12月24日 午後5時まで	1月4日 午前8時より
里芋(富士)：荒	12月20日 午後5時まで	1月10日 午前8時より
加工用ほうれん草	12月24日 午後5時まで	1月4日 午前8時より

※里芋、加工用ほうれん草ともに、受入場所は野菜集送センターです。

## 年末の御挨拶

早いもので、平成28年度も残すところ一ヶ月を切りました。今年も不安定な天候に悩まされ、更に追い打ちをかけるように台風上陸もあり、作業遅れや作物の品質低下、収量減など影響がでました。国内外の政治情勢に目を向けると、アメリカは大統領の交代によりTPPからの撤退が現実となり、国内では全農改革として委託販売の廃止や信用事業は農林中央金庫への譲渡を進めるなどの方針が打ち出されています。これから短い期間で大きく情勢が動き出す可能性がありますので、注視して行かなければならないと感じています。

本年度も私たち営農サポーターの訪問に際し、快く接して頂き誠にありがとうございました。生産者の皆様に有益な情報を提供できるよう努めているつもりではありますが、まだまだ納得頂けない所も多かったのではと考えます。平成29年度も情報収集に努め、情報の発信、より良い条件での商品提供、意見・要望の関係部署への報告に尽力して行きたいと思っております。

生産者の皆様は残り少ない平成28年度を無事に終え、ご家族揃ってよい年を迎えられることを心よりご祈念申し上げます。平成29年度も宜しくお願い致します。

営農サポーター一同

(文書取扱：JA都城 営農企画室) 事務所の電話番号は38-6693です

通信内容のご相談は営農サポーターまでご連絡ください